

## 第4 祈りの力

### 【暗唱聖句】

「だから、主にいやしていただくために、罪を告白し合い、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、大きな力があり、効果をもたらします。」ヤコブの手紙5章16節

### 【日曜日・宇宙規模の戦い】…祈りがなぜ必要なのか

聖書には、善と悪との戦い、キリストとサタンとの戦いが、宇宙規模で起きていることが書かれてあります。

「さて、天で戦いが起こった。ミカエルとその使いたちが、竜に戦いを挑んだのである。竜とその使いたちも応戦したが、勝てなかった。そして、もはや天には彼らの居場所がなくなった。この巨大な竜、年を経た蛇、悪魔とかサタンとか呼ばれるもの、全人類を惑わす者は、投げ落とされた。地上に投げ落とされたのである。その使いたちも、もろともに投げ落とされた」黙示録12:7～9

この戦いは、もともと天において始まりました。竜すなわちサタンは、力を持った非常に位の高い天使でしたが、キリストに対する嫉妬心や高慢な心が芽生え、天で反逆を起こしたのです。3分の1の天使たちがサタンに惑わされ、サタンと共に天にいたことができなくなり、地上に投げ落とされてしまいました。その結果、天で始まった戦いの舞台が、地上に移されたのでした。そして、地上に生きる人間は、いやがおうにもこの戦いの中に巻き込まれることになったのです。そのことは以下の聖句でも明らかです。

「わたしたちの戦いは、血肉を相手にするものではなく、支配と権威、暗闇の世界の支配者、天にいる悪の諸霊を相手にするものなのです」エフェソの信徒への手紙6章12節

「わたしたちの戦いの武器は肉のものではなく、神に由来する力であって要塞も破壊するに足ります。わたしたちは理屈を打ち破り…」コリントの信徒への手紙二10章4節

人生において様々な困難があります。争いや悲しみがあります。あらゆる罪の誘惑があります。そして、永遠の御国に入らせないようにと、何かが得体のしれない力が働いています。聖書は、それらは「支配と権威、暗闇の世界の支配者、天にいる悪の諸霊」なのだと言います。当然、肉の力によって勝利することはできません。私たちは神様に由来する力、すなわち祈りと御言葉を通して働く神様の力によって戦うのです。天からは、私たちの祈りに応えるように、助け主なる聖霊が遣わされ、御使いたちも日夜私たちのために動き回っています。このような戦いの只中にあることを、現実の出来事としてしっかりとらえていることが大切です。

### 【月曜日・イエス — 力強い仲保者】キリストの執り成しの祈り

イエス様は霊的な戦いをはっきり理解していたので、絶えず父なる神様と交わることを第一とし、神様の力を求めました。「イエス様は人里離れた所に退いて祈っておられ」（ルカ5章16節）たという言葉がしばしばでてきて、それをうかがい知ることができます。イエス様の祈りの姿勢は、私たちの模範ですから、イエス様が祈られたように、私たちも一人静かに祈るときが必要です。また、「わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った」（ルカ22章32節）と、ペテロのために祈ったことが書かれてあり、さらにイエス様は、いまでも「常に生きていて、人々のために執り成しておられ」（ヘブライ7章25節）と書かれてあります。イエス様は力強い仲保者として、今も昔も神様を信じる者たちのために、父なる神様に執り成して下さっているのです。このことは私たち一人ひとりにとって、本当に大きな励ましです。

### 【火曜日・パウロの執り成しの祈り】パウロの執り成しの祈り

イエス様が私たちのために神様への執り成しをしておられるように、パウロも毎日、熱心に執り成しの祈りをしていたことがわかります。エフェソの教会の信徒たちのために次のような執り成しの祈りを捧げました。「どうか、わたしたちの主イエス・キリストの神、栄光の源である御父が、あなたがたに知恵と啓示との霊を与え、神を深く知ることができるようにし、心の目を開いてくださるように。神の招きによってどのような希望が与えら

れているか、聖なる者たちの受け継ぐものがどれほど豊かな栄光に輝いているか悟らせてくださるように。私たち信仰者に対して絶大な働きをなさる神の力がどれほど大きなものであるか悟らせてくださるように」(エフェソ 1:17~19)。この祈りを短くまとめると、「神様を深く知ること、神様が下さる永遠の希望と神様の偉大な力を悟ることができるように」ということです。教会には様々な問題がありましたが、神様を知ることによって、すべてを乗り越え、正しい道を歩んでいくことができたと知っていたから、このように祈ったのでしょう。

またフィリピの教会の信徒へは次のように祈っています。「あなたがた一同のために祈る度に、いつも喜びをもって祈っています。それは、あなたがたが最初の日から今日まで、福音にあずかっているからです…」(フィリピ 1:4, 5)。手紙をもらった信徒たちは、とても励まされたことでしょう。パウロは教会のことを思えば、一人一人のことを思い出しながら喜び祈ったのです。

#### 【水曜日・働いている目に見えない力】ダニエルの執り成しの祈り

執り成しの祈りは、大争闘の視点からも大切です。ダニエルはエレミヤが預言したユダヤ人のバビロン捕囚は70年で終わるとの預言が近づいていることを知りました。しかし、そのような兆候はほとんど見られないばかりか、捕囚の民の霊的状况を見たとき、そもそも捕囚となる原因となった不信仰の問題が解決されているのだろうかと不安になったのです。そこでダニエルがとった行動は、断食をして捕囚の民全体を執り成す祈りを捧げることでした。すると、突如彼の前に「一人の人が麻の衣を着、純金の帯を腰に締めて立つ」たのです。これはキリストの顕現です。ダニエルは驚きのあまり気を失うのですが、天使の手が触れ、ダニエルが祈っている3週間の間に何が見えない世界において起きていたのかを示します。それはまさに善と悪との大争闘の1シーンだったのです。ダニエルが祈り始めるとすぐに天使が使われます。しかし、ペルシャ王国の天使(悪魔、悪霊)がそれを21日間も妨げます。そこでミカエル(キリスト)が助けにやって来てくれたので、こうして今来ることができたというのです。このようなことが、私たちが祈るときにも起きていると想像するならば、祈りが変わってしまうのではないのでしょうか。

#### 【木曜日・祈りの焦点】

サムエルは「わたしもまた、あなたたちのために祈ることをやめ、主に対して罪を犯すようなことは決してしない」(サムエル記上 12章 23節)と言っています。執り成しの祈りが、クリスチャン個人の祈りの生活において、また教会としての祈りにおいて、いかに大切であるかがわかります。

「何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる。これが神に対するわたしたちの確信です。わたしたちは、願い事は何でも聞き入れてくださるといことが分かるなら、神に願ったことは既になんかえられていることも分かります。死に至らない罪を犯している兄弟を見たら、その人のために神に願いなさい。そうすれば、神はその人に命をお与えになります。これは、死に至らない罪を犯している人々の場合です。死に至る罪があります。これについては、神に願うようには言いません」ヨハネー 5章 14~16節

私たちが執り成しの祈りを捧げる時、死に至らない罪を犯している人たちを回心させ、永遠の命に至らせることが可能です。それはダニエルの祈りと同様に、目に見えない世界で勝利が起こっているからです。イエス様を明確に否定し、聖書を明確に否定し、聖霊を拒む罪は死に至ります。そのような人たちは、神様の領域なのでお任せしましょう。

「サタンは彼の強力な競争相手に人が哀願することに耐えられません。なぜなら、その方の力と威光の前では、彼は恐怖で震えてしまうからです。熱心な祈りの声を聞くと、サタンの全軍は身震いします」教会への証第一巻